

なんでもインフォ

2015.3



発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１－23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

どうして無料区間と有料区間があるの？～高速道路～

はじめに

平成２６年度もあと少しとなり、卒業や転勤シーズンを迎え、あわただしく移動を強いられる方もおられるかと思います。そんな忙しい方々にとって、１度は利用されたことがあると思われる高速道路ですが、時間短縮や運転による疲労軽減にはありがたい存在です。

そんな高速道路のなかで、無料区間と有料区間が存在するのを御存知でしたでしょうか？下の写真は、釜石自動車道東和インターチェンジに設置されている標識ですが、この地点が有料と無料の分かれ目です。



なぜ同じ高速道路で、無料区間と有料区間が存在するのか、疑問には思いませんか？

そこで今月号では、高速道路の料金に関して紹介します。

高速道路＝有料道路ではないの？

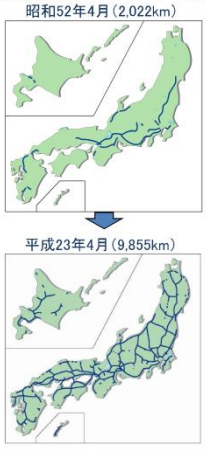
１０年ほど前までは高速道路のほとんどが有料であったため、高速道路＝有料道路と思っていた方も多いかもしれません。しかし一般的に「高速道路」と呼ばれている道路は、道路構造令上「高速自動車国道及び自動車専用道路」とされ、どこにも有料にしなければならないとは書いてありません。また、高速道路以外でも、有料道路は存在します。今はもう無料化されましたが、小岩井農場に行く道路も昔は有料道路でした。

高速道路建設の歴史

そもそも高速道路が有料となった理由は、その歴史的な背景があります。戦後の日本における厳しい財政理由により、道路整備需要に対応できないことから、一般財源や特定財源以外の財源調達方法として、有料道路制度が採用されました。

昭和３１年に「日本道路公団」が設立され、借入金による高速道路建設がスタートし、返済目的の料金徴収が始まりました。

その当時の道路公団の図面がすべて英語表記だった理由が、借入金の調達先の一つである世界銀行への説明目的だったそうです。



国土交通省ＨＰ資料より

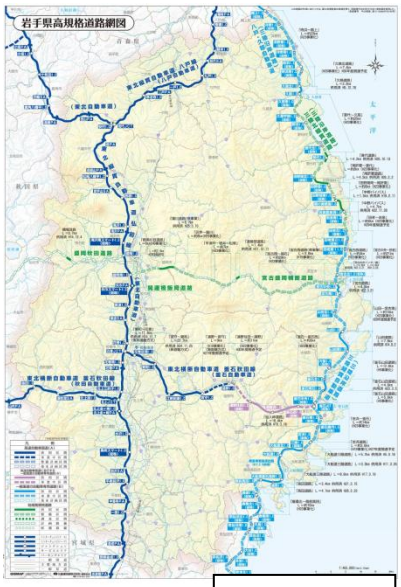
有料区間と無料区間

その基本が崩れたのが、小泉内閣の構造改革の一つ、道路公団民営化の時です。道路公団民営化にあたって、不採算路線等の建設を目的に国土交通省が主体となって、税金による整備方式「新直轄方式」が導入されました。この新直轄方式で整備されたのが東和 IC～宮守 IC 間であり、税金で整備されたことから無料となっています。

このほか、「一般国道の自動車専用道路」や「地域高規格道路」など様々な方式により、無料で利用できる地方の高速道路網整備が進められています。

岩手県内の高速道路

岩手県内では、「新直轄方式」により釜石道、「一般国道の自動車専用道路」により三陸縦貫自動車道と八戸久慈自動車道の整備が、急ピッチで進められています。また、「地域高規格道路」としての位置付けで、盛岡秋田道路，宮古盛岡横断道路，三陸北縦貫道路などの整備が進められており、高速道路網の完成が待たれるところです。



岩手県ＨＰより

〈発表されている今後の開通予定区間〉

平成２７年度
・三陸自動車道　三陸 IC～吉浜 IC（仮称）
・釜石自動車道　宮守 IC～遠野 IC（仮称）

平成２９年度
・三陸自動車道　山田 IC～宮古南 IC
・三陸北縦貫道　岩泉龍泉洞 IC～田老北 IC（仮称）

平成３０年度
・釜石自動車道　遠野 IC（仮称）～遠野住田 IC（仮称）
・八戸久慈自動車道　久慈北 IC～侍浜 IC（仮称）

今後岩手県で開通する高速道路は、すべて無料です！

おわりに

３月１日には、常磐自動車道が全線開通し、東北と首都圏をつなぐ高速道のダブルネットワークが形成されました。その効果として、観光交流の活発化や、物流強化が期待されており、岩手県内の高速道路網整備と三陸沿岸の復興も加速することを願っています。

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．

配布者

作成者：水沢支店
牧野　仁